



vol.5



WEB



Facebook

発行：佐賀県農産課

<http://www.pref.saga.lg.jp/list00069.html>



株式会社江口農園  
江口竜左さん



## ～未知へのチャレンジがチャンスを生む～ 心優しく健やかなふるさとを築く「農」の力



### 二人の祖父が愛した農業に飛び込む

世界各国で愛されている、香辛野菜パクチー。清涼感のある独特の香りが魅力の野菜です。佐賀県にも、「ガツンと強い香り」と濃い味の「たけおパクチー」の生産に取り組む若手農業経営者がいます。武雄市の江口竜左さん(29歳)です。

江口さんと農業との出会いは2人の祖父。「二人とも農業を愛するおじいちゃんでした」。二人の祖父の背中を見て育った江口さんは、農業大好き少年に成長。高校卒業後は野菜の栽培技術と農業経営を身につけるために滋賀県のタキイ種苗研究農場付属園芸専門学校に入学します。

江口さんは「40人の同級生たちは全員ライバル。負けないぞ」という強い思いを持って佐賀に帰ってきた」と語ります。

平成19年にふるさとに戻った江口さんを待ち受けていたのは、農協を退職して施設キュウリの栽培を始めていた父達郎さんでした。「父がキュウリの栽培技術を磨いてくれたことは大きな力になりました。2年目からは私が施設キュウリ、父が米、麦、大豆を栽培する体制で農業経営に取り組むことになりました」。

裏面へ続く・・・



## TOPICS



### 東京農業大学の学生を県内農家で受入

佐賀県では、平成28年度から東京農業大学の学生を対象としたインターンシップの受入を行っています(これまで11名の学生を受入)。今年度も8/21～25に4名、9/11～15に2名の学生を受け入れる予定です。インターンシップは、受け入れる側にとっても刺激になるもの。受入が可能な方は、県農産課にご連絡ください。(☎0952-25-7118)



江口農園と江口農園が立ち上げた  
就労センター「野菜」の皆さん

## 未知の野菜の栽培にチャレンジ

平成24年、江口さんは、パクチーとの衝撃的な出会いをします。「佐賀に帰ってきたのは、地域を元気にしたいと思ったから。施設キュウリを栽培して出荷する以上に、野菜でふるさとに貢献したいと思っていましたが、きっかけがなくて踏み出すことができませんでした」。ある時、武雄市役所から「パクチーを特産品として売り出したい」という提案が江口農園にもたらされます。

「正直、香りの強い野菜だったので、ちょっとこれはどうかなという思いがありました」。ただ、逆にここまで強烈なインパクトを持った野菜はないと思ったという江口さん。父親に相談し、「お前がやるならやっいていいぞ」という返事もらって、二人でパクチー栽培にチャレンジすることを決意したのです。

武雄市役所の支援を受けながら、種の選定から栽培技術の確立、販売先の開拓を開始。「強烈な野菜だからこそ、好きになった人はどんなことをしても手に入れたいのではないかな。それじゃ、そんな人たちにもガツンとくるパクチー、うならせるパクチー、味が濃いパクチーを作ろうじゃないか」と、種は本場タイから直輸入することになりました。

江口さんのもっと詳しいお話はwebサイトをチェック！



江口農園のパクチーを使った  
福岡の飲食店のメニュー



コラボ商品「パクチーペッパー」

## アンケートにお答えください！

「SAGA アグリ」の星は、サイトとフリーペーパーで、次世代の佐賀農業を担う人材をご紹介します。今回のインタビューに関する感想や、佐賀の農業への思い、また、フリーペーパーやサイトに掲載する佐賀の農業情報や、農業に従事している人について、どんなことを知りたいかなどのご要望をお寄せください。

アンケートは、「SAGA アグリ」サイトで、スマートフォンからもお答えいただけます。右側のQRコードからアクセスしてください！



SAGAアグリ  
アンケートページ